

胃腸器疾患における画像検査の意味：専門医からのメッセージ

Significance of Imaging Examinations in Gastrointestinal Diseases: A message from an Imaging Specialist

宮林 孝仁 iVEAT 総合診断センター センター長兼代表取締役 アメリカ獣医放射線学会認定専門医・獣医学博士
Takayoshi MIYABAYASHI B.V.S., M.S., Ph.D. Diplomate, American College of Veterinary Radiology
Director & CEO, The Institute of Veterinary Education & Advanced Technology



この中で、どなたか皆さんの中で日本語がわからない方いらっしゃいますか。日本語大丈夫ですか、皆さん。オーケーほんなら日本語で十分できます。はい、お願いします。ちょっとライトを落としてもらっていいですか。【スライド1】



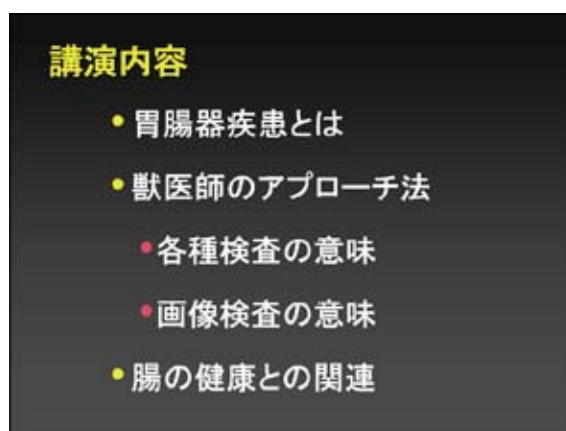
【スライド1】

ジル先生の方から非常に詳しく免疫という形でお話ししていただいたんですが、かなり詳しい内容だったんで、一般の方についてはちょっと難しかったかもしれませんが、要するに牛の初乳の加工物を御飯に入れることによって、子犬の腸機能が非常によくなるんじゃないかという、免疫がよくなるんじゃないかというお話ですよ。これのメインテーマはきょう、ピュリナさんの協賛でなってるわけですけども、腸の健康というのが生体にどのような影響を及ぼすかということで。

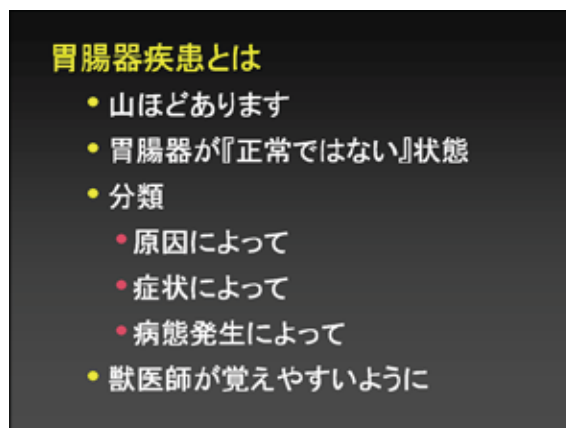
私自身、左向先生とは違まして、栄養の専門家でもありません。左向先生はもう世界的に活躍されておられる栄養の先生なんですけど、僕はどうしても無理やりにくっつけるしかなかったんで、私は画像の専門医なんで、画像検査の意味というのを飼い主の方々に少しお話しできればというふうに思います。さっきクライン先生がお聞きになられたと思うんですけど、獣医さんじゃない方ってどれくらいおられますかね。獣医さんじゃない方という、皆さん……オーケー、オーケー、そういう感じでお話しさせていただきたいと思います。

きょうは胃腸疾患というのを考えながら、獣医さんが

なぜ高いお金をかけて検査をして、治らへんときに皆さんは何で治らへんのかなと、どないやったら治るねんというふうに考えはる方、多いと思うんですけど、そういったところをちょっとお話しして、腸の健康とどのように関連しているのかというのを少しでも私の立場からお話しできればというふうに思っております。【スライド2】胃腸器疾患、山ほどあります。【スライド3】胃腸器



【スライド2】



【スライド3】

疾患という要するに正常ではない状態という形で考えればわかりやすいですよ。原因によって、例えば先ほど先生おっしゃったように細菌層がおかしくなる、あるいは免疫、おっしゃってましたよね、免疫刺激が強くなり過ぎても調子が悪くなる。例えば、僕もそうです。アメリカに渡った日本人としてよく起こるんですけど、潰瘍性の結腸炎というやつですよ。なぜかしらアメリカに渡った日本の男性に多いというふうに言われてますけども、そういうのも一つの病気です。

あるいは症状、例えば一番簡単なのは嘔吐・下痢ですよ、皆さん一番わかりやすいと思います。ところが下痢と言ってもどれからが下痢やと。軟便と下痢の違いは難しいと思います。あるいは色合いの違い、普通やったら茶色いのに、きょうはえらい黄色いとか、逆に白っぽいとか、えらい黒いなど。そういうようなところも変わってくるでしょう。……先ほどおっしゃったように、免疫の異常、これもありますし、腫瘍、感染、いろんなことで症状というのは起こってくると思います。

僕らがこういうのを考えていくときというのは、胃腸器疾患というのをどうやったら僕らが覚えやすいのか。今、下痢の子が来たとき、下痢の子が来たときに、どんな病気があるのかをこういうような分類で自分の頭の中で振り分けておくと。皆さんが来られたときに、胃腸器の疾患であるというのは大体下痢してたらわかるわけですけど、その中でもこの原因、あの原因というのを考えたいなというふうに僕ら自身は覚えるようにしています。

悪くなるとどうなるか、先ほど言いましたようにいろんな症状が出てきます、【スライド4】特に下痢・嘔吐です。腸ということになると嘔吐よりも下痢の方が多いかなと思いますけども。ここで皆さんに御理解いただきたいのは、獣医師がやる場合、特に一次診療をやられている家庭医という、普通の一般の先生方がやられるというのは、このどちらをやるべきかです。

腸の健康が悪くなると

- いろいろな症状(下痢や嘔吐)が発生
- 原因の推定
 - 『対症療法』
 - 『絶対に治る』が条件
- 原因の確定
 - 『原因療法』
 - 最良の治療法の確立
- 予後の判定

【スライド4】

例えば原因が推定できると、先ほどジル先生がおっしゃってましたですけど、クライン先生がおっしゃった自分のわんちゃんがクリスマスの前にいろんなものを食べて、ラッピングペーパーも食べて、12時間ぐるぐるおなか鳴ってたと言うたときやったら、僕やったら恐らく様子見ましよう、下痢したとしても絶食、お水だけちょっとみたいな、というのは、原因はほぼ推定できます。だから僕としてやることは対症療法、つまりその症状、下痢という症状を和らげてあげる、あるいは抑え

てあげる、そういったことに僕自身は持っていくと思います。

なぜか、いわゆるストマックアップセットという、いわゆる胃腸器の何か不具合というのが出た場合、僕的には絶対に治ると思ってますので、先ほどクライン先生おっしゃいましたけど、腸管の場合3日から、僕は1週間ぐらいかかると思ってますけど、粘膜というのが更新されます。1週間たったら勝手に治るわけですよ。僕ら小さいときに、よく小児科によく行きましたけど、下痢したときには先生から、また下痢したんか、おまえ。何か食べたんやろうと怒られて、きょうは飯なしやというて、翌日になったらちょっと重湯の上の水分だけととけとか。それで3日目ぐらいになってようやく、白身の魚から始めてどうじゃこうじゃありましたわな。それはもうあれは治ると思ってはるんで、そういうようなことをされたと思います。

ところが初めに、そうやないと飼い主さんからいろいろお話を聞いても、さっき言うてた原因のどれかという、分類のどれもひっかかってこないような場合、これは困りますよね。例えば試しにこの治療をやって、1週間たつて治らへんかったら、次のに行こうと、いわゆる原因療法、根本治療というのに持っていこうという考え方もあると思います。僕は専門医の立場から言うと、経験を積みめば、ある程度これはおかしいよと、しょっぱなから、例え1日目であっても、皆さんのお金高くつきますけども、3万円、5万円かかったとしても、何が原因かをまず見つけた方がいいんじゃないかと。

例えば今、異物を食べたとき、飼い主さんがわかりはらへんというときに、レントゲン撮らしてもらって、もちろん触診で痛がるというのが条件ですけども、触診して何かあるということになったら、レントゲン撮って超音波かけて、みたいな話になると思います。あるいは、老齢のわんちゃん最近食べ方が悪かったと、でも、きのうからなんか下血してるということになったら、さわって、もし固まりみたいなのがあるというたら、もうレントゲン撮って、今度は超音波かけて、さらにCTまで撮ろうかというような話になるかもしれません。その原因は何かというと、原因を知ることによって初めて治療法が決まる、つまりいろんな治療法があって、その中でどれが一番よいかを決めるためのデータ集めということをしていかないといけません。

普通に全く問題のない、おいしい食事、いい食事を食べて胃腸器の問題が出なかったら、それが一番ベストなわけですけど、こういうような異常が出たときというのは、獣医さんはそういうことを考えます。

もう一つ、一番大事なのは予後の判定、これはなかなか難しい言葉ですけど、今、病気してはってその病気が助かるものなのか、僕なんか専門医なのでかなり手おくれの方が多くですけど、この病気の場合は頑張ってホスピスみたいな、できるだけ痛くもなく、楽に最期を見送ってあげるような、そういう形でいきませんかみたいな、そういうことを言うに当たっても予後の判定として、やはりきちんとした診断、原因の追求というのが必要になってくると思います。

例えば嘔吐、【スライド5】難しいかもしれませんが、嘔吐というたら反射行動です。何かの原因があって、脳です、嘔吐に関してはすべて脳が絡みます。唾液の亢進、唾液の嚥下、えづき動作、ごうごうやってる間に口頭蓋といって、ここにのどのふたがありますから、それが閉鎖してくれて呼吸もとまって、【スライド6】それで胃もめちゃくちゃ収縮して、それから咽頭鼻部というて、鼻側のところもびたっとくっついてくれて、それで中から思いつき力出してぽっと出てきよるわけです。

『嘔吐』って何ですか？

- 反射行動
 - 唾液の亢進
 - 唾液の嚥下
 - 食道胃括約筋の弛緩
 - えづき動作
 - 腹筋、横隔膜の収縮

【スライド5】

嘔吐の病態生理

- 喉頭蓋の閉鎖、呼吸停止
- 上部腸管と胃前庭部の収縮
- 食道胃括約筋の胸腔内移動
 - 吐出可能
- 咽頭鼻部の閉鎖
- 嘔吐完了

【スライド6】

時々、三宮あたりで年末ですし、11時ぐらいにおっちゃんらで、結構頑張ってるおっちゃんらで時々ばつと吐くとき、鼻ぷつと出てる人おられますよね、口から吐けよというんですけど、鼻から出てるというのは神経がやられてはるんで、アルコールで、だからそういうよう

な失敗をしてしまうと。笑い事じゃないですよ、ひょっとしたら肺炎になりはるかもしれないので、危ないことなんですけど、嘔吐というのはそんなもんです。

じゃあ、嘔吐の原因というのはこんだけあるんです。【スライド7】何や悪いものを食べて嘔吐したと、確かにそうです。例えば、うちのわんちゃん、ミシ-というやつですけど、ダックスフントです、ワイヤーヘアの、一応……ありますけど、その子が、私が大事に大事に食べようと思つた551蓬萊の豚まんを二つ食べました。

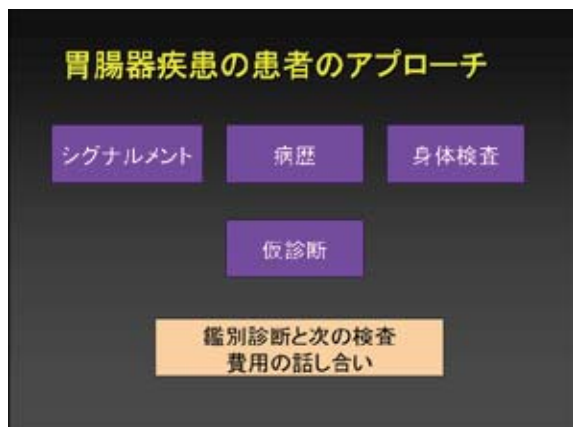
嘔吐の原因

- 胃腸と腹腔臓器の異常
 - 炎症、閉塞
- 全身性疾病
- 内分泌疾患
- 中枢神経系疾患
- 薬物と中毒
- 心理的
- 疼痛と外傷

【スライド7】

そしたら途端に下痢、嘔吐です。当然ですわ、それは。それやったら全然心配ないですよ、治りますから。ただ、ひょっとしたら、ほかの病気、肺炎で吐くこともあります。肝炎で吐くこともあります。内分泌の病気、例えばクッシング病って聞きはったことあるかもしれませんが、そんなんで吐く子もいますし、中毒もあり、あるいは自分が今まで一緒にいたわんちゃんが亡くなったと、あるいは自分が非常にかわいがってもらってたお父さん、お母さん、あるいは子供さんが巣立って出て行つたと、精神的なストレスだけで吐く子もいます。人間と一緒です、そんなところはね。

m p A X z i T
 p T s M {
 y A M o w x T p b { \ \ U q X o A M o
 Z p b T { H Q O q ¥ l h z w S K [
 y E A x q b { z t x s M p b Z r z
 § t x f O M O S K b w p z E A q O
 q ¥ l h o t q b { q i œ M M E A q z
 q o X s M E A U K b { « Q y z w U g l
 o M q V t E A q o K V d v { g l o
 M w l o s K V d { f \ p Q q z
 h « ø p] T ` o z z h l
] g l o { T [` O l o z \
 b s { j T o z z p l o M X
 ` z \ \ w _ V t h j M ' £ q M O w x t \$
 ` l o O t z s s) § ^ d o l o b {



【スライド8】

普通はこういう形で、【スライド8】シグナルメントといったらどんな形のわんちゃん、何歳で、避妊してる、避妊してない、雄雌とか、例えばわんちゃんの中でも、ダックスフントは3歳、4歳でリンパ腫とって、腫瘍ですわ、3歳、4歳で腫瘍といったら出る事ほとんどないんですけど、ダックスフントの場合は若齢性のリンパ腫とって、胃腸器の病気として出てきます。それは知られています。だからそういうようなわんちゃん、さわって何や腸管分厚いなみたいな、おかしいん違うかないうようなときに、やっぱりレントゲン、超音波させてもらって、リンパ節ははれてる、腸管ははれてるというところを針を刺して、どんな細胞出てくるか、リンパ節の中で変な細胞出てくるなといったら、それに対する治療、ラッキーなことこの病気治ります。ほとんど完治します。

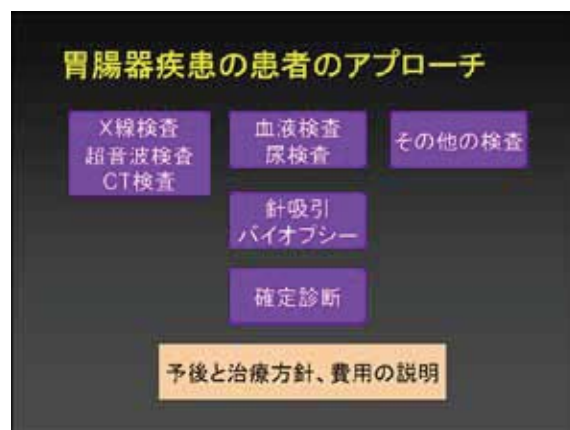
病歴というのもめちゃくちゃ大事です。だから私たちが根掘り葉掘り皆さんに聞きますわな、何かあったん違うのとか、そんな聞いている理由はその中に何か鍵があるんじゃないかと。僕はしつこく聞きます。そんなやったらあかんかなと思うぐらいに家族構成まで聞きます。おうち何部屋あって、それで、どこの部屋で何を使っていると、あるいは何かにおいものやってはりませんかとか、例えばゴキブリ出ますかとか。失礼な話やけど、それでもし出ますと言わはったら、ひよっとしたら硼酸だんごみたいな置いてはらへんかなと、中毒みたいにならへんのかなと。病歴、それでももちろん身体検査、体をさわらせてもらっておかしいなと思ったときに、それに対して何をするかと。

僕ら獣医師というのはお金をかける前に仮診断、551蓬莱、きのう食べた。そんならもう食あたりですわ。検査かける必要ありません、ほとんど。ところがわかりはらへんねん。いや、きのう帰ってきたら何や、きのうの夜から吐いとるんですわ。きょう朝も何や飯食わんし、いつもやったら吐いても朝はええんですけど、きょうは元気もないみたいな。そのときに、何かない

かなと、きのうと思っはってもひよっとしたら1週間前に何かあったかもしれん。例えば、1週間前に人が入って、リフォームかけはって、リフォームの大工のおっちゃんは何やら忘れていったと、それをなめやったかもしれん。

そういうのを聞いていく、身体検査と一緒に、それで仮診断として、これやっぱりおかしいよと、こうこうこういう問題が今、出とって、その原因としてはこんなもんだけありますわと。申しわけないけども次の検査としてお金かかるけど、こんなやらしてもらいたいんやけど、どんなもんでしよう。日本の獣医さん、あんまりお金ない人好きじゃないんで、しはらへんかもしれんけど、これは飼い主さんから突っ込みはってもいいんですよ、お金何ぼかかるんですかと言うて。大阪のことやから、神戸は違うかもしれんけど、文化がね、大阪の文化やったら何ぼ聞いたって構いませんので。

こんだけありますわ、検査かけようと思つたら。【スライド9】レントゲンやって、超音波やって、CTは麻酔かかるからしませんけど、血液検査、尿検査、それ以外の特殊な検査、恐らく3万円、4万円かかります、そんだけやりはつたらね。じゃあ、なぜやってるのかと、至って簡単、確定診断をつけたいからです。ところが今言ったやつどれをとっても確定診断には結びつきません。究極、細胞をとってくる、あるいは生検とって大きな針を刺すとか、ちょっとおなかあけさせてもらうとか、そういうようなことしたらまた5万円、10万円かかります、場合によってはね。



【スライド9】

それを段階的に、いかに費用を少なく、病気をしっかりと見つけることができるかと。これ、みんな腸の状態が悪くなってくるから、こんなになるんです。だからふだんから皆さんが腸の、いわゆる健康というのを考えてもらって。考える必要ありません。例えば、ジャーキー、一つとっても、ジャーキーメーカーが来とつたら後で袋たたきに遭うかもしれませんが、どんだけ保存

料入っているのかなというのは、ちょっと気になりますか。僕は気になります。僕はだからおやつというのは、僕が食べるようなやつを時々やって、あかんと思いつつやっていますけど、ごくごくたまですけどね。やはりわんちゃんのための新鮮な、僕が食べても問題ないような、僕、多分ささみジャーキーや棚にあるやつ買ってきて、自分で食べてというのはまずないと思います。まず、ようしません、それ。

だからその辺を考えてもらわなあかんと思う。後はちょっと例をお見せして終わっていきこうと思いますけど、【スライド10】例えば8歳の避妊雌の家猫ちゃん、貧血があるという話でした。2週間にわたって食欲不振、難しい、これ。2週間にわたってということやけども、ほんなら1週間目に来られへんかったのかなと。普通、食欲不振というのは、これ大きな症状なんです。僕は本当に大きな病気ってあんまりしたことないんで、食欲不振になったことはほとんどありません。今、ポリープをやっちゃって、声帯ポリープを先月に取ったところなんで、声がまだかれたままでちょっと申しわけないですけど、食欲不振2週間、猫ちゃん食欲不振2週間はかなり危険です。

161403

- シグナルメント
 - 8歳、避妊メス、家猫
- 稟告、身体検査所見
 - 貧血
 - 2週間の食欲不振
 - 昨日から嘔吐
 - 腹部の触診で塊状病変

【スライド10】

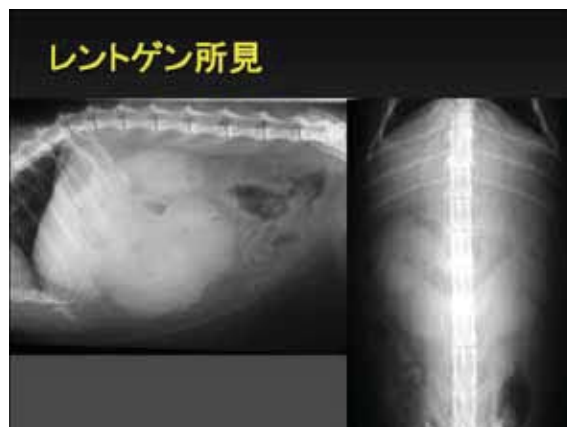
猫ちゃんというのは御飯を食べへんかったら、栄養がうまく回らへんようになっちゃったら、リピドーシスといって肝臓が悪くなります。一時的には、初めは腸の病気であっても、肝臓を悪くして肝臓のほうで死んでしまうということがよく知られているという、そういうもんです。だからもう御飯を3日全く食べてないというたら、強制給餌といって鼻から何かを入れさせてもらったりとか、もう無理やり口から入れさせてもらったりとか、あるいはアメリカで僕がいたときにはもうここから内視鏡を入れて、胃にチューブを通して胃から強制給餌と、要するにリピドーシスで死んでもらったら困りますので、一次疾患が治るまでということですよ。

きのうから嘔吐も始まって、おなかさわったら何かあ

る。おなかさわって何かあるというのは僕らが見逃したらちょっとごめんなさいや。それを毎日鍛えてるのが獣医師のはずなんで、だから僕時々言うんですけど、僕も獣医さんに講演多いから、お医者さんみたいにはならんってほしいよと、若い人らに。例えば風邪引きましたと言って、何人のお医者さんがのどを見てくれはって、それで聴診してくれはって、僕のお医者さんはしてくれません。ただ、腸をよう知つとると、言うたこと何でもやってくれるんでその人に行きますけど、なかなかしんどいです。ちょっと困りますね、そんなん。

アメリカの先生らは、お医者さんであっても、少なくとも10分は話ししはります。抗生剤を出しはる前に必ず簡易検査で細菌がのどにあるかないか確認しはります。なかったら抗生剤出しはりません。それが医学やなというふうに僕は思いますけどね。日本の場合はちょっと違うんかなというように。

この子来ましたわ、ほんならレントゲン撮らしてもらいました、【スライド11】触診で何かあるからということで。ここはちょっとわかりにくいかもしれませんが、これは横に寝たレントゲン、これは万歳しているときのレントゲンです。これの方が見やすいかな、多分。これ何かありますわ、ここに、確かに。これが骨で、腰の骨、これ肋骨ですな、心臓の一部見えとって、こんなもありませんね。こっちか、すごいね、これ、グリーンの輪っかというのは初めて使いましたけど、見える、これ。これ心臓の一部ですね、ここに肝臓があります、これ。その後ろに何か固まりあって、ちょっと黒く見えてるのは空気です。腸管の空気、腸が後ろに行つとって、それで何やここにあるなと。腸と肝臓の間にある、割と真ん中といたら恐らく脾臓か胃のどっちかです。



A B t B / BB : : A

こっちで見たら、ずっとこっちまで来てるんで、多分胃と違うかみたいなの、そんな感じですよ。じゃあ、今、胃の病気であるということですよ。ここで獣医さん考えます。【スライド12】胃があんなにおかしくなる

レントゲン診断

- 前腹部の塊状病変
- 左右側面像
 - 胃腸管の異常
- 胃の病変の疑い
 - 上部胃腸系造影検査
 - 腹部超音波検査

【スライド 12】

と言ったら腫瘍違うかと。肉芽腫違うかと、肉芽腫といって慢性の炎症疾患というのが猫ちゃんの場合があります。その慢性の炎症疾患やったらまだお薬で治るかもしれないけど、もう1個のほうの胃の腫瘍、その中でもリンパ腫やったらまだ治るかもしれませんが、腺がんといってがんやったら胃がん、人と一緒にやっぱり治りません、あんまり。

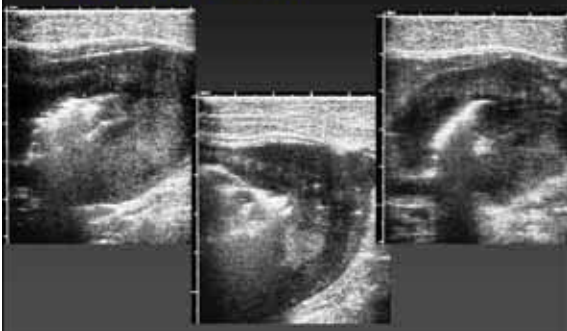
それを見にいかなあかんと言ったときに、昔はバリウムやとったんですよ。バリウムをやってどうなってるのかなみたいなの。バリウムやっても細胞とられへんで、今やったら多分超音波やります。【スライド 13】何か位置の決定とか、そういうの、あるいはひも状いうて猫ちゃ

超音波検査か造影検査か

- 上部胃腸系造影法
 - 形態学的異常
 - 位置決定
 - 紐状異物
 - 時間と労力の問題
- 胃腸超音波検査
 - 正確な解剖と針吸引(細胞診)

【スライド 13】

超音波検査所見



【スライド 14】

んありますわな、猫ちゃんようひもを食べやっけて詰まることあるからね、そんなときには非常に便利いいんですけど、ほかの場合はこっちやったほうがわかりやすいと思います。いまいちわかりにくい、こっちでいいですか。

だから超音波をやろうと、やりました。こんなんです。【スライド 14】ぱっと見てわかりません。ごめんなさいね、これ獣医さんやったらわかりやすいんですけど、普通、これ胃の壁なんですけど、胃壁なんですけど、普通は猫ちゃんといったら4ミリから5ミリです、厚さ的に。ここにあんのが1センチのスケールです、これ。これ5ミリです。大きいやつで1センチです。これちょっと見てもらったら1.5センチ、2センチぐらいあります。これ見た時点で胃壁がおかしいと、胃壁が分厚いと。これでもわかりません、リンパ腫なんか、腺がんなんか、あるいはさっき言ってた肉芽腫という病気なんかわかりません。だから僕は針を突かしてもらいます。

内視鏡でいってもいいんですよ、ただ内視鏡でやったら麻酔をかけなあかん。でも超音波で針を刺すだけやったら麻酔要りませんので、まず刺させてもらいます。リンパ節も腫脹しとってと、こうあったんですけど、細胞診といってね、針を刺してみたらリンパ腫やったということです。【スライド 15】これ来院してから超音波検査

超音波診断

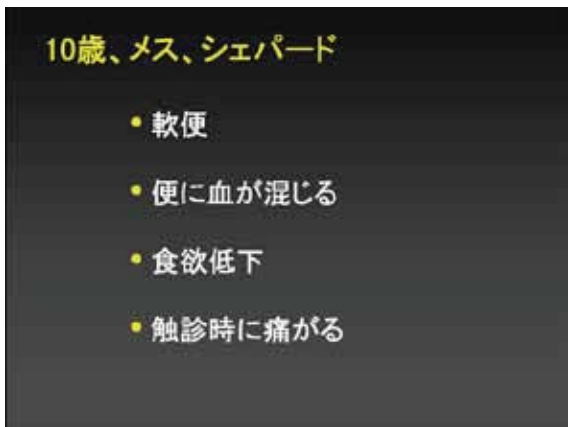
- 胃壁の肥厚(>6mm)
- 層構造の消失
- リンパ節腫脹
- 鑑別診断=浸潤性疾患
 - 腫瘍
 - 肉芽腫性疾患
- 細胞診=リンパ腫



【スライド 15】

やって、何じゃかんじゃやって、僕は2次診療なんで初めにやっけてはりますから、ある程度のデータはそろってますけども、1時間から2時間あれば診断が出てくる。費用はかかりますわ、残念ながら。2万円、3万円とかかかってきます。あるいはそれ以上かかるかもしれません。でも、結果はやろうと思ったら出てきます。こういったところもちょっと覚えとってほしいです。

10歳のシェパード犬、雌で、シェパードで10歳といったらよう頑張ってますわ、はっきり言って。【スライド 16】僕はあんまり見たことないです、10歳のシェパードといったらね。大体もうあかんようになりやる子が多いね。でも、結構長生きしてる子、時々いますよね。軟



【スライド 16】

便があつて、便に血がまざると、食欲が低下して。僕らにとつたら、こういったときにすでちよつとしたことでもええんですわ。特に僕が一番気にするのは夏場どうやったかとか、冬場どうやったかとか、僕がよく質問させてもらうのは、ことしの夏どうでしたかと、今の時期やったらね。そのときに、ちょっと夏ばてしとつたか、元気あんまりなかったかもしれんわというような答えが返ってきたときに、ひよつとしたら長いこと患つてやんの違うかなと。

飼い主さんのせいじゃないんですよ。なかなかわかりませんが、毎日見てはつたらね。たまに見せてもらった僕らのほうがわかりやすいかもしれんけど、そういったところ。これもレントゲン撮らせてもらいました。【スライド 17】こんなんですわ。さつきとよく似てます、こっ



【スライド 17】

ちの像はね。肝臓あつて、これは胃空っぽですわ。何や塊、めっちゃあります、これ塊が、こっち側で見とつても。これ腸管があつて、ちょっと見えにくくなつとるけど、こら辺でこれとおんなじやつがこら辺に見えてます、塊ですわ、これ。おかしいと、こんなありません、こんな像。

ああいったところにあるといたら腸管しかないんで、おかしいなと。これも一緒です。こんな大きくなつて、これ今、側面像とって、ここの部分を拡大したや



【スライド 18】

つが今ここで見えてるんですけど、何かあるんちゃうんかと。【スライド 18】何かおかしいでと言つたときに、様子見よか、あかん、あかん、それ様子見たらあきません。それで異常が見つかりましたんで、おなかあけはつてもいいです。ただ、10歳のシェパード犬なんでね、もしも悪性のもんで、ちょっともうしんどいよということであつたら、ひよつとしたら飼い主さんもうあんまり痛いことせんといつたと、行けるとこまで行つて、最期お別れしたるわということであれば、それも一つの選択だと僕思うんですよ。

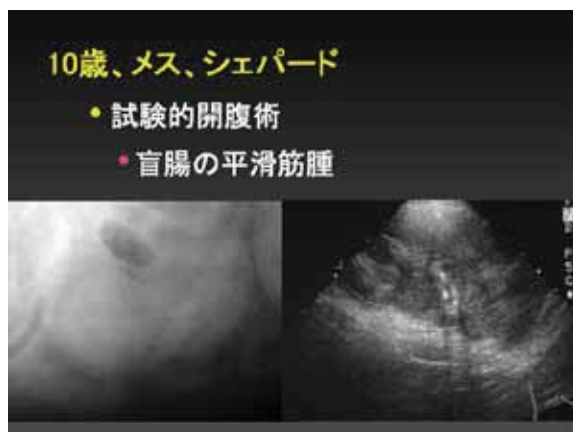
そういうことになったら、こういったときに超音波させてもらう。【スライド 19】やっぱり腸管ですわ、これ。



【スライド 19】

腸管がこてこてになつてました、これ。普通、黒くこんなに見えて、内腔が一部だけ小さく見えるということ、まずありません。おかしいなということですから。試験的開腹しました、【スライド 20】平滑筋腫とって、これは良性の腫瘍です、ラッキーなことに。命取りになることはないですけど、ラッキーやったね、そういう意味ではね。費用かかりましたけど、思い切つて検査をしてもらつて画像検査を使つてもらつて、次のステップというのがわかつたん違うかなと思います。

これ、費用かかりますわ。そこで選択ですよ。10歳のわんちゃんですわ、2万円、3万円、4万円と、何ぼかかる



【スライド 20】

んですか。ほんならこれ、この次、何になるんですか。質問してください。遠慮したらあきません。獣医さんとは友達関係がいい、ある意味。話したいことは話し合ったほうがいい。でないと、獣医さんも困ります。特に若い先生らというのは一生懸命頑張ってやっていますけども、やっぱり自分より年配の方と話すというのは、なかなかしんどいです。

僕も思い出したら 22 歳で、僕らの時代は卒業しましたからね。22 歳で卒業して、おれ 54 ですけど、これぐらいの顔してるんで、22 のときいうたら、よう見えても 17 か 18 ですわ。そのとき、患者さん来はってね、当時、看護師さんなんかいてはりませんから、僕一人ですわ、受付のところで勉強してた。患者さん入ってきはって、悪いな、先生おるかと言って、先生、先生、ここおるといって言うたことありましたけど、なかなか難しい。やっぱり先輩らに対してどう口きいてええかわからへんし、医者やからといって何構えてんねんみたいな言い方できませんしね。難しいですよ、非常に。

だから、言うてあげてください。私はこう思ってるねんけど、先生どう思うとか、私ここまでできんねんけど、費用的にこれ以上になったらちょっと先生、難しいんやと、そこら辺、何かありますとかかね。遠慮せんと言うてあげてください。そのほうが獣医やりやすいです、僕らのほうはね。だからそこら辺も考えて、今の子は手術で一応取って治りましたけど、その後帰ってきてないんでどうなってるかわかりません、ごめんね。

13 歳のウェスティちゃん、2 年間にわたる結腸炎、長過ぎる。【スライド 21】これはあかん、2 年間にわたる結腸炎ありません、そんなん。僕みたいに、僕の場合は 3 年から 4 年にわたる結腸炎で、今、日本に帰ってきて治りましたがね、ラッキーなことに。向こうで毎日薬を飲まないとお血がひどくって、やってられないぐらい大変でした。やっぱり専門医の人に診てもらって、これもそうです、のどもね。割と僕はマイクなしでも後ろ



A B t B / BB : : A

ぐらいまで通る声なんです。高校のときサッカーやってたら、僕ゴールキーパーやったんですけど、向こうのゴールキーパーがおれの指示皆聞こえたと言っていましたから、それぐらい声を通るんですけど、今、無理です、これ。治れへんなと思って、大体、講演の後、声かすれますけど、治らんな、治らんなと思って診てもらったら、やっぱりポリープがあって、今、取ったんですけど、まだ治らへんというのはちょっと気になりますね、それはそれとして。

……よう寝ると、13 歳のウェスティ、よう寝て当たり前というふうに思ったらあかん。やっぱり前まで元気やって、今よう寝る。やっぱりおかしいです。よう寝るといったら肝臓病、腎臓病、その辺のことを考えてもらわなあかん、あるいは全く元気がないと、力が出ないと、栄養がない。電解質といって、カリウムとかあの辺のバランスが崩れてると、そんな場合も多々あります。だから、触診させてもらいました。何かやっぱり塊あるんです。おかしいなと思って、レントゲン撮りました。【スライド 22】塊、糞塊です、うんちです、これ。全部う



A B t B / BB : : A

んちです。こんな大きなうんち、出るわけないです。骨盤の入り口、何かあんなねんね。結腸炎、結腸炎と思っただけど何かあるんやと思います。【スライド 23】

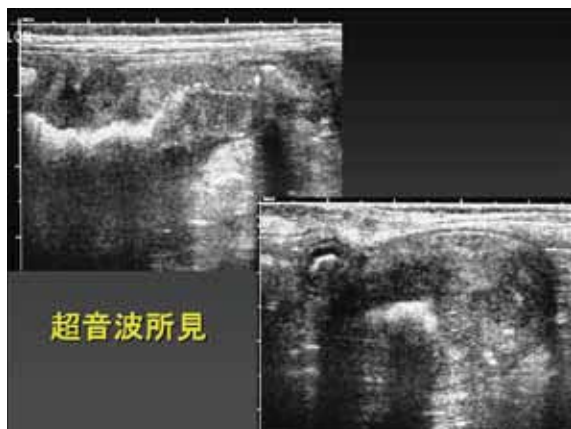
普通やったらこんなん出ますし、こんな固まるわけな

レントゲン診断

- 糞塊による結腸の拡張
- それ以外は異常なし
- 鑑別診断
 - 結腸の狭窄症
 - 浸潤性疾患
 - 結腸の運動機能異常
 - 次のステップ??

【スライド 23】

いんです。これ巨大結腸症といって、もう糞塊出えへん状況です。糞塊による結腸の拡張と、それ以外異常なしやけど、原因は何やねんということですよ。内視鏡をやってもらってもいいし、僕は専門医なんで超音波みたいなのをやらしてもらおうとは思んですけど、やらしてもらったらやっぱり腸管がさっきと一緒に、さっきの猫ちゃんの胃と一緒に、普通2ミリです、結腸の厚さといったら。ようあって3ミリです。もう1センチですわ、これ1個が1センチなんで。2センチ近くありますか、これ。【スライド 24】



【スライド 24】

こんなんを僕ら見つけようと思って、費用かかるんですけども、皆さんにお願いしてこんなんやらせてもらえませんかと言うて、これも一緒ですわ。取ったんですけど、腺がんという結果が出ていて、結腸の腺がんといったら残念ながら放射線療法もあんまりうまくいかないことが多いし、手術をしても結腸、大腸というのは血行が悪いですね、血液供給が。だから小腸と違って、切ったところを、後つないでもつながりが悪いです。

だから後の予後といって、あと何カ月余命あるかと言ったときに、余りよくないです。【スライド 25】手術した後、ぱっとよくなって3カ月でも御飯食べて、わっと走ってくれてといったら僕らでもやりますかと言いたいんですけど、そのままずるずる死んでしまう可能性もあ

超音波診断

- 非常に肥厚した結腸壁
- 5層構造の消失
- 鑑別診断
 - 浸潤性疾患
 - 針吸引結果＝腺癌
- 飼い主は治療を辞退

【スライド 25】

ります。手術の後でね。だからそこをよく飼い主さんとお話しして、お話しした結果、飼い主さんも、もういいわと、もう行けるところまで見取ってやりますというて言いはったんで、それはそれでいいですよ。僕そういうときは、まいたけ食べさせてくださいとかね。自分でつくっておいしい御飯やっただけとお願いするんですけど。最期しんどくなったら、やっぱり楽にしてやるみたい。僕らのほうではできることやからこののをお願いすることが多いです。

僕がやっとなったのは次のステップということやけど、CT検査をやりはってもいいです、この症例で。もう手術すると決めはったらね。もう絶対CTやったほうがいいです。【スライド 26】そしたらどっからどこまで

次のステップの検討

- 結腸の造影検査
 - 準備が面倒
 - 良い結果は期待薄
 - 位置の確認以外は意味なし
- CT検査法
 - 総合的な判断
 - 麻酔とコスト

【スライド 26】

切らなあかんとか、超音波ではわかりませんので。これまた四、五万円、これ上乗せの費用になりますけども、やるだけの価値はあります。聞いてください、それを獣医さんに。獣医さんわかってるはずなんで、そういったことを。内視鏡検査、僕はあんまりやりませんが、このお話しされる石岡先生なんかようやられてると思います、内視鏡とかね。【スライド 27】あるいはおなかもあけて、どうするか。ただ、13歳のわんちゃんでおなかをあけてみましょうかというのは、僕はよう言わんですわ。まず、結果がどうなって、もう腫瘍ではないとか、

次のステップの検討

- 内視鏡検査
 - 生検による確定診断
 - 全身麻酔
- 開腹術
 - 侵襲度がかなり高い
 - 事前に細胞診

【スライド27】

そんなんやったらあけてみましょうかというのはありますけど、それ以外で、13歳であげるというのはちょっとしんどいです、僕的にはね。

ということで、30分いただいてましたので、腸の健康が悪くなると症状が出てくる。そのとき、私たち獣医師が考えるのが、対症療法でええか、あるいは確定診断に基づく根本治療をするか、これがもう一番の決め手であり、一番皆さんに費用の点で御迷惑をかける部分やと思います。ただ、その点、理解してください。獣医さんのやってはることがわからんときには聞いてください。めっちゃくちゃ大事です。コミュニケーションがとれなかったら、どうやって僕らわんちゃんを助けてあげられますか。わんちゃん、自分で言ってくれないんで、僕らは飼い主さんに頼るしかありません。

例えばお薬をやってくださいと言って、1日、2日、お薬できひんと、うちはもう2日やられへんというんやったら1日1回の薬に先生してくれへんかと。私、2回やれませんと言うてください。そんなお薬あると思います、多分、1日1回の薬。2回できひん、2回分もらって帰りはって、1個ずつやってへんかったら多分効きませんわ、お薬。こんなもんめっちゃくちゃ大事なコミュニケーションです。飼い主さんと獣医さん、その2人が協力し合わない限り、腸の健康を害したわんちゃんたちの病気を治していくというのは大変です。

と同時に、獣医師の責任、ここにも書いてありますけど、……しっかりした意思表示というのを書いときましたけど、一番大事なんは健康を保つということです。ふだんから皆さんはわんちゃんたち、猫ちゃんたちの食事に気をつけてもらって、それで何がいいのかというの勉強してもらって、こんなんがええ、あんなんがええといういろいろ出てきますわ。そのときに、それをもう1回消化してもらって、腸やから消化してもらって、それでほんまによかったら試してみようかというふうにされるのがいいと思います。

これから特にインターネットの情報、いろいろあります。気をつけとってください。特に書き込みで、私、獣医師ですというのは一番危ないから。獣医さんがほんまに獣医さんやってはるかどうかわかりませんからね、書き込みというのは。だから、書き込みの内容というのはいい場合もありますけど、全くもって間違ったことを書いてはる方もおられますので、そういったところ、やっぱり獣医さんと話しながらやっていただくというのが一番いいんじゃないかなと思います。

大体、私の時間アップでございますので、どなたか御質問ございますか。

○左向敏紀

ありがとうございます。司会の役目までやっていただいて。

○宮林孝仁

いえいえ、とんでもない。

○左向敏紀

先生、2次診療だけじゃなくて、どうも1次診療からすべての獣医学、入り口から出口までずっと説明できるって変ですけど、非常に勉強になりました。

○宮林孝仁

とんでもない。

○左向敏紀

何か皆さん、質問ございますでしょうか。

○宮林孝仁

大丈夫。

○左向敏紀

この関西弁にやられてしまいました。

○宮林孝仁

そんなことない、大体、関西の人やと思います。でも、神戸は違いますもんね。僕、こてこての河内なんですわ。ごめんなさいね。

○左向敏紀

何か質問ありますか。

○宮林孝仁

大丈夫、大丈夫やね。

○左向敏紀

大丈夫でしょうか。じゃあ、先生ありがとうございます。

○宮林孝仁

ありがとうございました。

○左向敏紀

続きまして、石岡先生にお願いしたいと思いますが、休憩時間を取りませんので、適切に、適当にトイレ休憩はしていただいて、お願いします。座長席からどうやっ

てトイレに行こうか悩んでいるところでございますが。

次に石岡先生から肥満に関するお話をしてもらおうと思います。腸管の健康と言いながら、肥満とは何ぞやというところがあるんですけど、病気ということでは、肥満というのが病気かどうかというのが後で多分出てくると思うんですけど、余り病気がしくない病気が、その消化管と。

ちょっと色が悪くないですか、よろしいですね。もう出てきましたね、小ばなししている場合じゃなかったんで、石岡先生の紹介をします。これも113ページのほうに出ておりますけども、石岡先生は北海道大学の卒業で、臨床現場に出た後、また北海道大学で大学院、博士を取られた後、アメリカのテキサスA & Mの大学で勉強された後、日本獣医生命科学大学に来てもらったということであります。今、私の教室と一緒に教育、研究に携わっているというところです。

じゃあ、石岡先生よろしくお願いします。